

水の三重点メンテナンス・バス 7312



主な機能

- 温度範囲は-5 °C~110 °C。
- TPWセルを最長6週間保持。
- 固定小数点校正用に2つのTPWセルまたはガリウムセルを保持することが可能。
- セルを破損から保護する独立した遮断回路。

製品概要: 水の三重点メンテナンス・バス 7312

通常サイズの水の三重点（TPW）セルを使用する機会が頻繁にあるようでしたら、メンテナンス・バスをお使いいただくと時間と手間を省けます。7312 水の三重点メンテナンス・バスは、定点セルを酷使したとしても数週間に渡って正確に維持します。

7312にはTPWセルが2本収容可能です。また、セル内の測定を行う前にプローブを適切に冷却するための専用ウエルが3つあります。安定度、均一度ともに±0.006 °Cより優れており、最大8週間セルを維持します。どのような方法でアイス・マン틀を生成したとしても、7312内で維持することができます。

独立した保護回路がバスの温度を監視し、コントローラーに不具合が発生した場合には冷却システムを遮断して、セルを凝固や破損から保護します。ノイズを低減するよう製造されていますので、校正室で過度の騒音を発することはありません。

さらに2031A “クイック・スティック” 浸没型冷却ツールと組み合わせて使うことで、ハンズフリーで素早くアイス・マン

トルを実現することができます。2031Aの容器にドライアイスとアルコールを満たし、セルに挿入してください。他の仕事を済ませている間に1時間足らずでアイス・マントルが形成されます。（または液体窒素を使用することもできます。）

せっかく時間をかけてアイス・マントルを形成しても、セルを氷の入ったバケツで保持してはアイス・マントルはすぐに溶けてしまいます。通常のサイズのTPWセルをお使いでしたら、フルーク・キャリブレーションの7312でセルを正しく維持することをお勧めします。

仕様: 水の三重点メンテナンス・バス 7312

一般仕様	
レンジ	-5 °C ~110 °C
安定度	±0.001 °C at 0 °C (アルコール・水融合) ±0.004 °C at 30 °C (アルコール・水融合)
均一度	±0.003 °C at 0 °C (アルコール・水融合) ±0.006 °C at 30 °C (アルコール・水融合)
水の三重点セルの維持期間	6週間, 代表値 (アイス・マントルが適切に形成されている場合)
設定温度確度	±0.05 °C at 0 °C
設定温度繰り返し性	±0.01 °C
表示分解能	±0.01 °C
設定温度分解能	±0.002 °C; 高分解能モードでは 0.00003 °C
アクセス開口部	121 x 97 mm
浸没度	496 mm
容量	19 リットル
通信	RS-232
電源	115 VAC (±10 %), 60 Hz または 230 VAC (±10 %), 50 Hz, 要指定
寸法 (HxWxD)	819 x 305 x 622 mm
重量	34 kg

モデル



7312

TPW メンテナンス・バス

2031A

「クイック・スティック」イメージョン・フリーザー

Fluke. 動き続ける世界を支える

Fluke Corporation
PO Box 9090, Everett, WA 98206 U.S.A./div>
お問い合わせ先: ©2025 Fluke
フルーク Corporation.
特約店営業部 仕様は、予告なく変更され
TEL : 03-6714-3114 る場合があります。
www.fluke.com/jp/ 04/2025

世界で最も信頼されている
ツール